

2009年度

科目名	ピアノB			コード	52280
担当教員	阪口 むつみ				
配当	教福1			コード	52280
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数	1
授業テーマ	ピアノ表現基礎 「(人の演奏を)聴きながら弾く」「歌いながら弾く」				
目的と概要	「ピアノA」でピアノが両手で弾けるようになった人を対象に、グループ指導と個人指導を組み合わせながら授業を進めてゆきます。この授業では「ゆとり」を持ってピアノが弾けるようにするのが目的です。従って、人の演奏を聴きながら弾くという「連弾」や「デュオ」という演奏スタイルに挑戦していただきます。二人で弾くと楽しさが倍増し、練習も苦にならないでしょう。また、一人で歌いながら弾く「弾き歌い」の世界にも入ります。「弾き歌い」は保育の現場で必要不可欠です。幼稚園教諭や保育士を目指す人は、積極的に取り組んでください。				
成績評価法	授業や学習への意欲(20%)、および演奏発表①(25%)・演奏発表②(25%)・試験(30%)の音楽表現力で評価します。				
テキスト	特に定めていません。				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	前期、同時間帯の阪口担当「ピアノA」を履修した人を対象としています。				
講義計画					
第1回 ガイダンス 上質の演奏とは？ 第2回 課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第3回 課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第4回 課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第5回 課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第6回 演奏発表① 人前での表現力と演奏聴取力の養成のために 第7回 デュオ、弾き語り・弾き歌いのコツ 第8回 自由曲のレクチャー(演奏上の留意点、範奏) 第9回 自由曲のレクチャー(演奏上の留意点、範奏) 第10回 自由曲のレクチャー(演奏上の留意点、範奏) 第11回 演奏発表② 人前での表現力と演奏聴取力の養成のために 第12回 試験課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第13回 試験課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第14回 試験課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第15回 演奏表現のまとめ					